

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029001	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プチック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語	
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」（朝日出版社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？	A B C
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は～です」と言ってみよう 2) リエゾンって何？ 3) 数を数えよう (1～10)	A B C
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「～人」を覚えよう 3) 聞き取りをする	A B C
第5回	「何を好き？」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう	A B C
第6回	「何を好き？」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形？ 3) 学生ですと自己紹介	A B C
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう	A B C
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望？	A B C

第9回	「何持ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持ってるものを言ってみよう 3) 何持ってる？	A B C
第10回	「何持ってる？」(2) 1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2) どんな授業を受けてるの？ 3) カフェってどんなところ？	A B C
第11回	「カフェやスーパーに行く」(1) 1) 「～する」の動詞を知ろう 2) 買い物、料理、洗濯する？ 3) バイトしてる？	A B C
第12回	「カフェやスーパーに行く」(2) 1) 「行く」の動詞を知ろう 2) 疑問文を知る 3) どこに行く？何する？ペアレッスン	A B C
第13回	「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」 1) 練習問題 2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？	A B C
第14回	「誰の物？」(1) 1) 何色の服着てる？ 2) 形容詞を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C
第15回	「誰の物？」(2) 1) どんな quel を知る 2) フランス人へメールを書いてみよう	A B C
第16回	定期試験	A B C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029002	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語	
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」（朝日出版社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？	A B C
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は～です」と言ってみよう 2) リエゾンって何？ 3) 数を数えよう (1～10)	A B C
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「～人」を覚えよう 3) 聞き取りをする	A B C
第5回	「何を好き？」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう	A B C
第6回	「何を好き？」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形？ 3) 学生ですと自己紹介	A B C
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう	A B C
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望？	A B C

第9回	「何持ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持ってるものを言ってみよう 3) 何持ってる？	A B C
第10回	「何持ってる？」(2) 1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2) どんな授業を受けてるの？ 3) カフェってどんなところ？	A B C
第11回	「カフェやスーパーに行く」(1) 1) 「～する」の動詞を知ろう 2) 買い物、料理、洗濯する？ 3) バイトしてる？	A B C
第12回	「カフェやスーパーに行く」(2) 1) 「行く」の動詞を知ろう 2) 疑問文を知る 3) どこに行く？何する？ペアレッスン	A B C
第13回	「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」 1) 練習問題 2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？	A B C
第14回	「誰の物？」(1) 1) 何色の服着てる？ 2) 形容詞を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C
第15回	「誰の物？」(2) 1) どんな quel を知る 2) フランス人へメールを書いてみよう	A B C
第16回	定期試験	A B C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029003	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語	
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」（朝日出版社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？	A B C
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は～です」と言ってみよう 2) リエゾンって何？ 3) 数を数えよう (1～10)	A B C
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「～人」を覚えよう 3) 聞き取りをする	A B C
第5回	「何を好き？」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう	A B C
第6回	「何を好き？」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形？ 3) 学生ですと自己紹介	A B C
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう	A B C
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望？	A B C

第9回	「何持ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持ってるものを言ってみよう 3) 何持ってる？	A B C
第10回	「何持ってる？」(2) 1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2) どんな授業を受けてるの？ 3) カフェってどんなところ？	A B C
第11回	「カフェやスーパーに行く」(1) 1) 「～する」の動詞を知ろう 2) 買い物、料理、洗濯する？ 3) バイトしてる？	A B C
第12回	「カフェやスーパーに行く」(2) 1) 「行く」の動詞を知ろう 2) 疑問文を知る 3) どこに行く？何する？ペアレッスン	A B C
第13回	「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」 1) 練習問題 2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？	A B C
第14回	「誰の物？」(1) 1) 何色の服着てる？ 2) 形容詞を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C
第15回	「誰の物？」(2) 1) どんな quel を知る 2) フランス人へメールを書いてみよう	A B C
第16回	定期試験	A B C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029004	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語	
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」（朝日出版社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？	A B C
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は～です」と言ってみよう 2) リエゾンって何？ 3) 数を数えよう (1～10)	A B C
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「～人」を覚えよう 3) 聞き取りをする	A B C
第5回	「何を好き？」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう	A B C
第6回	「何を好き？」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形？ 3) 学生ですと自己紹介	A B C
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう	A B C
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望？	A B C

第9回	「何持ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持ってるものを言ってみよう 3) 何持ってる？	A B C
第10回	「何持ってる？」(2) 1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2) どんな授業を受けてるの？ 3) カフェってどんなところ？	A B C
第11回	「カフェやスーパーに行く」(1) 1) 「～する」の動詞を知ろう 2) 買い物、料理、洗濯する？ 3) バイトしてる？	A B C
第12回	「カフェやスーパーに行く」(2) 1) 「行く」の動詞を知ろう 2) 疑問文を知る 3) どこに行く？何する？ペアレッスン	A B C
第13回	「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」 1) 練習問題 2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？	A B C
第14回	「誰の物？」(1) 1) 何色の服着てる？ 2) 形容詞を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C
第15回	「誰の物？」(2) 1) どんな quel を知る 2) フランス人へメールを書いてみよう	A B C
第16回	定期試験	A B C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029005	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏2)_E(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)_E(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。
キーワード/Keywords	フランス語
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした!授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです!フランスがとても好きになりました!(先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は~です」と言ってみよう 2) リエゾンって何? 3) 数を数えよう(1~10)
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「~人」を覚えよう 3) 聞き取りをする
第5回	「何を好き?」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「何を好き?」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形? 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの? 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望?

第9回	<p>「何持ってる？」(1)</p> <p>1) 「持っている」を学ぼう</p> <p>2) 持ってるものを言ってみよう</p> <p>3) 何持ってる？</p>
第10回	<p>「何持ってる？」(2)</p> <p>1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える</p> <p>2) どんな授業を受けてるの？</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「カフェやスーパーに行く」(1)</p> <p>1) 「～する」の動詞を知ろう</p> <p>2) 買い物、料理、洗濯する？</p> <p>3) バイトしてる？</p>
第12回	<p>「カフェやスーパーに行く」(2)</p> <p>1) 「行く」の動詞を知ろう</p> <p>2) 疑問文を知る</p> <p>3) どこに行く？何する？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「誰の物？」(1)</p> <p>1) 何色の服着てる？</p> <p>2) 形容詞を覚えよう</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第15回	<p>「誰の物？」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) フランス人へメールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029006	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4~M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。
キーワード/Keywords	フランス語
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした!授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです!フランスがとても好きになりました!(先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は~です」と言ってみよう 2) リエゾンって何? 3) 数を数えよう(1~10)
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「~人」を覚えよう 3) 聞き取りをする
第5回	「何を好き?」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「何を好き?」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形? 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの? 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望?

第9回	<p>「何持ってる？」(1)</p> <p>1) 「持っている」を学ぼう</p> <p>2) 持ってるものを言ってみよう</p> <p>3) 何持ってる？</p>
第10回	<p>「何持ってる？」(2)</p> <p>1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える</p> <p>2) どんな授業を受けてるの？</p> <p>3) カフェってどんなところ？</p>
第11回	<p>「カフェやスーパーに行く」(1)</p> <p>1) 「～する」の動詞を知ろう</p> <p>2) 買い物、料理、洗濯する？</p> <p>3) バイトしてる？</p>
第12回	<p>「カフェやスーパーに行く」(2)</p> <p>1) 「行く」の動詞を知ろう</p> <p>2) 疑問文を知る</p> <p>3) どこに行く？何する？ペアレッスン</p>
第13回	<p>「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」</p> <p>1) 練習問題</p> <p>2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？</p>
第14回	<p>「誰の物？」(1)</p> <p>1) 何色の服着てる？</p> <p>2) 形容詞を覚えよう</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第15回	<p>「誰の物？」(2)</p> <p>1) どんな quel を知る</p> <p>2) フランス人へメールを書いてみよう</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590029007	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は「マエストロ1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プチック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFrance.goです。半期で8時間です。	
キーワード/Keywords	フランス語	
教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」（朝日出版社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）が必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるかもしれませんが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国？	A B C
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	「自己紹介をしよう」(1) 1) 「私は～です」と言ってみよう 2) リエゾンって何？ 3) 数を数えよう (1～10)	A B C
第4回	「自己紹介をしよう」(2) 1) 「私は、君は」を覚えよう 2) 「～人」を覚えよう 3) 聞き取りをする	A B C
第5回	「何を好き？」(1) 1) er 動詞を覚えよう 2) 友達を紹介しよう 3) ペアレッスンで話してみよう	A B C
第6回	「何を好き？」(2) 1) 勉強している科目を言ってみよう 2) 複数形はどんな形？ 3) 学生ですと自己紹介	A B C
第7回	「友達を紹介しよう」(1) 1) 外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ 2) 色々なer 動詞を使ってみよう 3) グループレッスンしよう好きなことを言ってみよう	A B C
第8回	「友達を紹介しよう」(2) 1) 「その」「それらの」の冠詞を覚える 2) 否定文を作ろう 3) 将来の仕事は何が希望？	A B C

第9回	「何持ってる？」(1) 1) 「持っている」を学ぼう 2) 持ってるものを言ってみよう 3) 何持ってる？	A B C
第10回	「何持ってる？」(2) 1) 「ひとつの」「いくつかの」の冠詞を覚える 2) どんな授業を受けてるの？ 3) カフェってどんなところ？	A B C
第11回	「カフェやスーパーに行く」(1) 1) 「～する」の動詞を知ろう 2) 買い物、料理、洗濯する？ 3) バイトしてる？	A B C
第12回	「カフェやスーパーに行く」(2) 1) 「行く」の動詞を知ろう 2) 疑問文を知る 3) どこに行く？何する？ペアレッスン	A B C
第13回	「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」 1) 練習問題 2) フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？	A B C
第14回	「誰の物？」(1) 1) 何色の服着てる？ 2) 形容詞を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C
第15回	「誰の物？」(2) 1) どんな quel を知る 2) フランス人へメールを書いてみよう	A B C
第16回	定期試験	A B C

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031001	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏2)_E(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	L(仏2)_E(仏1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) ある程度の文章を読める、簡単なメール書けるようにします。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「~を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか? 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの?」(1) 1) 犬はどこ? 2) 上、下、横を学ぶ 3) ペアレッスン
第6回	「どこにいるの?」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの? 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定?」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いのお表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031002	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) ある程度の文章を読める、簡単なメール書けるようにします。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常生活のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「~を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか? 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの?」(1) 1) 犬はどこ? 2) 上、下、横を学ぶ 3) ペアレッスン
第6回	「どこにいるの?」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの? 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定?」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いのお表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031003	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) 簡単なメールが書けるようになります。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常生活のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「~を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか? 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの?」(1) 1) 犬はどこ? 2) 上、下、横を学ぶ 3) ペアレッスン
第6回	「どこにいるの?」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの? 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定?」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いのお表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031004	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) ある程度の文章を読める、簡単なメール書けるようにします。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「~を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか? 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの?」(1) 1) 犬はどこ? 2) 上、下、横を学ぶ 3) ペアレッスン
第6回	「どこにいるの?」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの? 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定?」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いのお表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031005	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (E(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) ある程度の文章を読める、簡単なメール書けるようにします。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ 1」(朝日出版社) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「~を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか? 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの?」(1) 1) 犬はどこ? 2) 上、下、横を学ぶ 3) ペアレッスン
第6回	「どこにいるの?」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの? 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定?」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いのお表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031006	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp(メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) 簡単なメールが書けるようになります。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ Ⅰ」（朝日出版社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「～を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか？ 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの？」(1) 1) 犬はどこ？ 2) 上、下、横を学ぶ 3) ペアレッスン
第6回	どこにいるの？」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの？ 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定？」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590031007	科目番号 / Course code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4~M6_D1・D2_K(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期の続きの「マエストロ 1」を使います。この教科書は、ビデオを中心にどうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、フランスで日常よく使われる会話を中心に、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。</p> <p>2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。</p> <p>3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。</p> <p>4) 簡単なメールが書けるようになります。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go(自学学習)15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「マエストロ Ⅰ」（朝日出版） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「服を買おう」(1) 1) 「～を欲しい」を言ってみよう 2) 身につけるものの単語を覚えよう 3) ペアレッスンをしてみよう
第2回	「服を買おう」(2) 1) これを買います。 2) 他の色はありますか？ 3) 簡単な詩を読んでみよう
第3回	「食べ物を買おう」(1) 1) 野菜、果物、肉、魚の単語を知ろう 2) お願いします、を言ってみよう 3) 食べ物、飲み物につく部分冠詞を知ろう
第4回	「食べ物を買おう」(2) 1) ユーロで買い物をする 2) マルシェでの買い方を知る 3) グループで買い物をしよう
第5回	「どこにいるの？」(1) 1) 犬はどこ？ 2) 上、下、横を学ぶ
第6回	「どこにいるの？」(2) 1) 台所、お風呂、寝室はどう言うの？ 2) 住んでる部屋を説明する 3) 練習問題を解く
第7回	「道を教えてください」(1) 1) 行きたい場所を言う 2) 命令形を作ってみよう 3) フランス語を聞き取ろう
第8回	「道を教えてください」(2) 1) 左、右、まっすぐ 2) 地図を書いてみよう 3) グループレッスン
第9回	「どういう予定？」(1) 1) 「いつ」「誰」を知ろう 2) 近い未来を言ってみる 3) 100まで覚えよう

第10回	<p>「どういう予定？」(2)</p> <p>1) 「出発する」を覚える</p> <p>2) 疑問文を知ろう。</p> <p>3) ペアレッスン</p>
第11回	<p>「練習問題と買い物のお話をしよう」</p> <p>1) 練習問題を解く</p> <p>2) グループで役割を決めてお話をしてみよう</p>
第12回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(1)</p> <p>1) グループで復習ゲーム</p> <p>2) クラスメイトに質問しよう</p> <p>3) この人はどんな人?</p>
第13回	<p>「復習と天気、時刻を言う」(2)</p> <p>1) どんな天気?</p> <p>2) 暑い、寒いの表現を知る</p> <p>3) 何時ですか?</p>
第14回	<p>「自分の1日を言う」(1)</p> <p>1) 「起きる」「服を着る」を言う</p> <p>2) 今日は何時に何をするの?</p> <p>3) 代名動詞の否定文を作る。</p>
第15回	<p>「自分の1日を言う」(2)</p> <p>1) 「もう~しなくなった」を言う。</p> <p>2) 「お互い~する」を言う</p> <p>3) グループレッスン</p>
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590033001	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2D1・2D2_2T1~2T8) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2_2T1~2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、フランス語 の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語ることができ、鉄道での移動ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習 Mission 9 「臨戦態勢」(1) Monsieur Croissantと子供たちが人質に取られた!	A
第2回	「臨戦態勢」(2) 1) 動詞 devoir (ねばならない) と pouvoir (できる) の使い方を知ろう 2) ある人物(ペット)の特徴を言い表してみよう 3) 好き嫌いの言い方を覚えよう	A B C
第3回	「臨戦態勢」(3) 1) 中性代名詞 en と y の使い方を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(1) 3) 今まで習った単語を思い出して、メッセージを解読しよう。 4) 動詞 mettre (置く・入れる・着るetc.)	A B C
第4回	Mission 9 小テスト Mission 10 「対決の時」(1) 1) 曜日と日にちの言い方、いろいろな時の表現を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2)	A B C
第5回	「対決の時」(2) 1) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2) 続き 2) savoir (知っている, ...できる)の使い方を知ろう。 3) グループで力を合わせてWANの野望を読み取ってみよう。	A B C
第6回	「対決の時」(3) 1) 使役表現 faire + 不定詞 の使い方を知ろう。 2) 受動態の表し方について知ろう。 3) 野菜クイズ: 野菜を使った面白い言い回しを覚えよう。 4) 疑問代名詞 qui (誰が、誰を) を使えるようになる。	A B C
第7回	Mission 10 の小テスト Mission 11 「Vladimir を探せ」(1) 1) 移動手段の表し方を知ろう。 2) 天候の聞き方と表現を知ろう。 3) 中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「Vladimir を探せ」(2) 1) 列車や地下鉄などの交通手段に関する単語や表現を知ろう。 2) 過去の描写に使う動詞時制、半過去を知ろう。	A B C
第9回	「Vladimir を探せ」(3) 1) グループで半過去の活用に慣れる練習をしよう。 2) フランスの交通事情に詳しくなる。	A B C

第10回	Mission 11 の小テスト Mission 12 「決戦の前に」(1) 1) 未来を表す動詞の単純未来について知ろう。 2) 料理のルセット(レシピ)で使われる表現を知ろう。 3) b と v の聞き分けに挑戦。	A B C
第11回	「決戦の前に」(2) 1) フランス料理に詳しくなるう。 2) 料理の感想や好き嫌いを言えるようになるう。 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「決戦の前に」(3) 1) 敵の無線を傍受して戦いに備える。 2) 声をそろえてシュプレヒコールで敵をかく乱。 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。	A C
第14回	課題に取り組もう: パワーポイントで高校生までの自分、地元の名物料理やお菓子などを紹介。	A B C
第15回	試験に備えてクリアしたミッションを振り返ろう。	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590033002	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2J1~2J3_2T9_2K1~2K3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J1 ~ 2J3_2T9_2K1 ~ 2K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、フランス語 の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RGPをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語る事ができ、鉄道での移動ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習 Mission 9 「臨戦態勢」(1) Monsieur Croissantと子供たちが人質に取られた!	A
第2回	「臨戦態勢」(2) 1) 動詞 devoir (ねばならない) と pouvoir (できる) の使い方を知ろう 2) ある人物(ペット)の特徴を言い表してみよう 3) 好き嫌いの言い方を覚えよう	A B C
第3回	「臨戦態勢」(3) 1) 中性代名詞 en と y の使い方を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(1) 3) 今まで習った単語を思い出して、メッセージを解読しよう。 4) 動詞 mettre (置く・入れる・着るetc.)	A B C
第4回	Mission 9 小テスト Mission 10 「対決の時」(1) 1) 曜日と日にちの言い方、いろいろな時の表現を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2)	A B C
第5回	「対決の時」(2) 1) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2) 続き 2) savoir (知っている, ...できる)の使い方を知ろう。 3) グループで力を合わせてWANの野望を読み取ってみよう。	A B C
第6回	「対決の時」(3) 1) 使役表現 faire + 不定詞 の使い方を知ろう。 2) 受動態の表し方について知ろう。 3) 野菜クイズ: 野菜を使った面白い言い回しを覚えよう。 4) 疑問代名詞 qui (誰が、誰を) を使えるようになる。	A B C
第7回	Mission 10 の小テスト Mission 11 「Vladimir を探せ」(1) 1) 移動手段の表し方を知ろう。 2) 天候の聞き方と表現を知ろう。 3) 中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「Vladimir を探せ」(2) 1) 列車や地下鉄などの交通手段に関する単語や表現を知ろう。 2) 過去の描写に使う動詞時制、半過去を知ろう。	A B C
第9回	「Vladimir を探せ」(3) 1) グループで半過去の活用に慣れる練習をしよう。 2) フランスの交通事情に詳しくなる。	A B C

第10回	Mission 11 の小テスト Mission 12 「決戦の前に」(1) 1) 未来を表す動詞の単純未来について知ろう。 2) 料理のルセット(レシピ)で使われる表現を知ろう。 3) b と v の聞き分けに挑戦。	A B C
第11回	「決戦の前に」(2) 1) フランス料理に詳しくなるう。 2) 料理の感想や好き嫌いを言えるようになるう。 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「決戦の前に」(3) 1) 敵の無線を傍受して戦いに備える。 2) 声をそろえてシュプレヒコールで敵をかく乱。 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。	A C
第14回	課題に取り組もう: パワーポイントで高校生までの自分、地元の名物料理やお菓子などを紹介。	A B C
第15回	試験に備えてクリアしたミッションを振り返ろう。	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590033003	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2M1~2M3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1 ~ 2M3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、フランス語 の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RGPをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語る事ができ、鉄道での移動ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習 Mission 9 「臨戦態勢」(1) Monsieur Croissantと子供たちが人質に取られた!	A
第2回	「臨戦態勢」(2) 1) 動詞 devoir (ねばならない) と pouvoir (できる) の使い方を知ろう 2) ある人物(ペット)の特徴を言い表してみよう 3) 好き嫌いの言い方を覚えよう	A B C
第3回	「臨戦態勢」(3) 1) 中性代名詞 en と y の使い方を知ろう。 2) 複合過去形 (...した) の作り方を身につけよう(1) 3) 今まで習った単語を思い出して、メッセージを解読しよう。 4) 動詞 mettre (置く・入れる・着るetc.)	A B C
第4回	Mission 9 小テスト Mission 10 「対決の時」(1) 1) 曜日と日にちの言い方、いろいろな時の表現を知ろう。 2) 複合過去形 (...した) の作り方を身につけよう(2)	A B C
第5回	「対決の時」(2) 1) 複合過去形 (...した) の作り方を身につけよう(2) 続き 2) savoir (知っている, ...できる) の使い方を知ろう。 3) グループで力を合わせてWANの野望を読み取ってみよう。	A B C
第6回	「対決の時」(3) 1) 使役表現 faire + 不定詞 の使い方を知ろう。 2) 受動態の表し方について知ろう。 3) 野菜クイズ: 野菜を使った面白い言い回しを覚えよう。 4) 疑問代名詞 qui (誰が、誰を) を使えるようになる。	A B C
第7回	Mission 10 の小テスト Mission 11 「Vladimir を探せ」(1) 1) 移動手段の表し方を知ろう。 2) 天候の聞き方と表現を知ろう。 3) 中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「Vladimir を探せ」(2) 1) 列車や地下鉄などの交通手段に関する単語や表現を知ろう。 2) 過去の描写に使う動詞時制、半過去を知ろう。	A B C
第9回	「Vladimir を探せ」(3) 1) グループで半過去の活用に慣れる練習をしよう。 2) フランスの交通事情に詳しくなる。	A B C

第10回	Mission 11 の小テスト Mission 12 「決戦の前に」(1) 1) 未来を表す動詞の単純未来について知ろう。 2) 料理のルセット(レシピ)で使われる表現を知ろう。 3) b と v の聞き分けに挑戦。	A B C
第11回	「決戦の前に」(2) 1) フランス料理に詳しくなるう。 2) 料理の感想や好き嫌いを言えるようになるう。 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「決戦の前に」(3) 1) 敵の無線を傍受して戦いに備える。 2) 声をそろえてシュプレヒコールで敵をかく乱。 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。	A C
第14回	課題に取り組もう: パワーポイントで高校生までの自分、地元の名物料理やお菓子などを紹介。	A B C
第15回	試験に備えてクリアしたミッションを振り返ろう。	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590033004	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2G1~2G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、フランス語 の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語ることができ、鉄道での移動ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習 Mission 9 「臨戦態勢」(1) Monsieur Croissantと子供たちが人質に取られた!	A
第2回	「臨戦態勢」(2) 1) 動詞 devoir (ねばならない) と pouvoir (できる) の使い方を知ろう 2) ある人物(ペット)の特徴を言い表してみよう 3) 好き嫌いの言い方を覚えよう	A B C
第3回	「臨戦態勢」(3) 1) 中性代名詞 en と y の使い方を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(1) 3) 今まで習った単語を思い出して、メッセージを解読しよう。 4) 動詞 mettre (置く・入れる・着るetc.)	A B C
第4回	Mission 9 小テスト Mission 10 「対決の時」(1) 1) 曜日と日にちの言い方、いろいろな時の表現を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2)	A B C
第5回	「対決の時」(2) 1) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2) 続き 2) savoir (知っている, ...できる)の使い方を知ろう。 3) グループで力を合わせてWANの野望を読み取ってみよう。	A B C
第6回	「対決の時」(3) 1) 使役表現 faire + 不定詞 の使い方を知ろう。 2) 受動態の表し方について知ろう。 3) 野菜クイズ: 野菜を使った面白い言い回しを覚えよう。 4) 疑問代名詞 qui (誰が、誰を) を使えるようになる。	A B C
第7回	Mission 10 の小テスト Mission 11 「Vladimir を探せ」(1) 1) 移動手段の表し方を知ろう。 2) 天候の聞き方と表現を知ろう。 3) 中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「Vladimir を探せ」(2) 1) 列車や地下鉄などの交通手段に関する単語や表現を知ろう。 2) 過去の描写に使う動詞時制、半過去を知ろう。	A B C
第9回	「Vladimir を探せ」(3) 1) グループで半過去の活用に慣れる練習をしよう。 2) フランスの交通事情に詳しくなる。	A B C

第10回	Mission 11 の小テスト Mission 12 「決戦の前に」(1) 1) 未来を表す動詞の単純未来について知ろう。 2) 料理のルセット(レシピ)で使われる表現を知ろう。 3) b と v の聞き分けに挑戦。	A B C
第11回	「決戦の前に」(2) 1) フランス料理に詳しくなるう。 2) 料理の感想や好き嫌いを言えるようになるう。 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「決戦の前に」(3) 1) 敵の無線を傍受して戦いに備える。 2) 声をそろえてシュプレヒコールで敵をかく乱。 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。	A C
第14回	課題に取り組もう: パワーポイントで高校生までの自分、地元の名物料理やお菓子などを紹介。	A B C
第15回	試験に備えてクリアしたミッションを振り返ろう。	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590033005	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2E1 ~ 2E3_2P1・2P2) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E1 ~ 2E3_2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、フランス語 の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RGPをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語ることができ、鉄道での移動ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習 Mission 9 「臨戦態勢」(1) Monsieur Croissantと子供たちが人質に取られた!	A
第2回	「臨戦態勢」(2) 1) 動詞 devoir (ねばならない) と pouvoir (できる) の使い方を知ろう 2) ある人物(ペット)の特徴を言い表してみよう 3) 好き嫌いの言い方を覚えよう	A B C
第3回	「臨戦態勢」(3) 1) 中性代名詞 en と y の使い方を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(1) 3) 今まで習った単語を思い出して、メッセージを解読しよう。 4) 動詞 mettre (置く・入れる・着るetc.)	A B C
第4回	Mission 9 小テスト Mission 10 「対決の時」(1) 1) 曜日と日にちの言い方、いろいろな時の表現を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2)	A B C
第5回	「対決の時」(2) 1) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2) 続き 2) savoir (知っている, ...できる)の使い方を知ろう。 3) グループで力を合わせてWANの野望を読み取ってみよう。	A B C
第6回	「対決の時」(3) 1) 使役表現 faire + 不定詞 の使い方を知ろう。 2) 受動態の表し方について知ろう。 3) 野菜クイズ: 野菜を使った面白い言い回しを覚えよう。 4) 疑問代名詞 qui (誰が、誰を) を使えるようになる。	A B C
第7回	Mission 10 の小テスト Mission 11 「Vladimir を探せ」(1) 1) 移動手段の表し方を知ろう。 2) 天候の聞き方と表現を知ろう。 3) 中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「Vladimir を探せ」(2) 1) 列車や地下鉄などの交通手段に関する単語や表現を知ろう。 2) 過去の描写に使う動詞時制、半過去を知ろう。	A B C
第9回	「Vladimir を探せ」(3) 1) グループで半過去の活用に慣れる練習をしよう。 2) フランスの交通事情に詳しくなる。	A B C

第10回	Mission 11 の小テスト Mission 12 「決戦の前に」(1) 1) 未来を表す動詞の単純未来について知ろう。 2) 料理のルセット(レシピ)で使われる表現を知ろう。 3) b と v の聞き分けに挑戦。	A B C
第11回	「決戦の前に」(2) 1) フランス料理に詳しくなるう。 2) 料理の感想や好き嫌いを言えるようになるう。 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「決戦の前に」(3) 1) 敵の無線を傍受して戦いに備える。 2) 声をそろえてシュプレヒコールで敵をかく乱。 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。	A C
第14回	課題に取り組もう: パワーポイントで高校生までの自分、地元の名物料理やお菓子などを紹介。	A B C
第15回	試験に備えてクリアしたミッションを振り返ろう。	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590033006	科目番号 / Course code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2E4 ~ 2E6_2F1 ~ 2F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E4 ~ 2E6_2F1 ~ 2F3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、フランス語 の続きの「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RGPをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 動詞の過去時制を学び、過去に起こったことを伝えられるようになる。 2) ある人物について性格や好み・身体的特徴などを伝えられるようになる。 3) 曜日を始め、時の表現を使いこなせるようになる。 4) 天候を言い表せるようになる。 5) 過去の出来事を描写できる。 6) 移動手段について知って語る事ができ、鉄道での移動ができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	フランス語 で学習した内容の復習 Mission 9 「臨戦態勢」(1) Monsieur Croissantと子供たちが人質に取られた!	A
第2回	「臨戦態勢」(2) 1) 動詞 devoir (ねばならない) と pouvoir (できる) の使い方を知ろう 2) ある人物(ペット)の特徴を言い表してみよう 3) 好き嫌いの言い方を覚えよう	A B C
第3回	「臨戦態勢」(3) 1) 中性代名詞 en と y の使い方を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(1) 3) 今まで習った単語を思い出して、メッセージを解読しよう。 4) 動詞 mettre (置く・入れる・着るetc.)	A B C
第4回	Mission 9 小テスト Mission 10 「対決の時」(1) 1) 曜日と日にちの言い方、いろいろな時の表現を知ろう。 2) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2)	A B C
第5回	「対決の時」(2) 1) 複合過去形(...した)の作り方を身につけよう(2) 続き 2) savoir (知っている, ...できる)の使い方を知ろう。 3) グループで力を合わせてWANの野望を読み取ってみよう。	A B C
第6回	「対決の時」(3) 1) 使役表現 faire + 不定詞 の使い方を知ろう。 2) 受動態の表し方について知ろう。 3) 野菜クイズ: 野菜を使った面白い言い回しを覚えよう。 4) 疑問代名詞 qui (誰が、誰を) を使えるようになる。	A B C
第7回	Mission 10 の小テスト Mission 11 「Vladimir を探せ」(1) 1) 移動手段の表し方を知ろう。 2) 天候の聞き方と表現を知ろう。 3) 中性代名詞 le の使い方を理解しよう。	A B C
第8回	「Vladimir を探せ」(2) 1) 列車や地下鉄などの交通手段に関する単語や表現を知ろう。 2) 過去の描写に使う動詞時制、半過去を知ろう。	A B C
第9回	「Vladimir を探せ」(3) 1) グループで半過去の活用に慣れる練習をしよう。 2) フランスの交通事情に詳しくなる。	A B C

第10回	Mission 11 の小テスト Mission 12 「決戦の前に」(1) 1) 未来を表す動詞の単純未来について知ろう。 2) 料理のルセット(レシピ)で使われる表現を知ろう。 3) b と v の聞き分けに挑戦。	A B C
第11回	「決戦の前に」(2) 1) フランス料理に詳しくなるう。 2) 料理の感想や好き嫌いを言えるようになるう。 3) 関係代名詞を知ろう。	A B C
第12回	「決戦の前に」(3) 1) 敵の無線を傍受して戦いに備える。 2) 声をそろえてシュプレヒコールで敵をかく乱。 3) 位置関係を表す表現を知ろう。	A B C
第13回	映画(動画)でリスニングを確認し、フランス料理やグルメガイドの世界を知ろう。	A C
第14回	課題に取り組もう: パワーポイントで高校生までの自分、地元の名物料理やお菓子などを紹介。	A B C
第15回	試験に備えてクリアしたミッションを振り返ろう。	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590035001	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2D1・2D2_2T1~2T8) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2_2T1~2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期のフランス語 に引き続き「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「～しながら」(同時性)や「～すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。</p> <p>2) 感嘆文が言えるようになる。</p> <p>3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。</p> <p>4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。</p> <p>5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Mission 13 「ボスはどこだ？」（1） 1）Masamune たちの会話を読み取り、WANOの計画を予想しよう。 2）「動詞の現在分詞」を知り、作れるようになるう。 3）ウラジミールの指示を聞き取るう。	A B C
第2回	「ボスはどこだ？」（2） 1）グループでマサムネとサラの会話を完成させよう。 2）「ジェロンディフ」って何だ？形を知り、使いこなそう。 3）感嘆文「何という...！」を使えるようになるう。	A B C
第3回	「ボスはどこだ？」（3） 1）建物の階のフランス式数え方を知ろう。 2）ボスの居場所と特徴を読み取るう。	A B C
第4回	Mission 13 の小テスト フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう。	A B C
第5回	フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう（続き）	A B C
第6回	Mission 14 「エトワール塔の決戦」（1） 1）質問に答えて敵を倒そう。 2）グループでボスの主張を読み取るう。 3）所有代名詞「~のもの」を知ろう。	A B C
第7回	「エトワール塔の決戦」（2） 1）ウラジミールの指示を書き取るう。 2）ボスの分身の術を破り、本物を見つけ出そう。	A B C
第8回	「エトワール塔の決戦」（3） 1）条件法現在形の活用と用法を知ろう。 2）モンスター化したぼすを倒すため、グループで協力してクロスワードを解こう。 Mission accomplie !	A B C
第9回	Mission 15 「希望のうた」（1） 1）サラの歌の歌詞を美しい日本語に訳そう。 2）今までの経験を最初から順番に思い出そう。 3）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C

第10回	「希望のうた」(2) 1) 勇者たちの未来を予想しよう。 2) グループで会話文を完成させよう。 3) 接続法について知ろう。	A B C
第11回	「希望のうた」(3) 1) 接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 2) 住居に関する語彙を知ろう。	A C
第12回	「希望のうた」(4) 1) 理想の家をグループで考え、絵とともに説明しよう。 2) ウラジミールからのお礼のメールを読もう。	A B C
第13回	課題に取り組もう(1) このストーリーの登場人物たちに宛ててメッセージを書こう。	A C
第14回	課題に取り組もう(2) 全ての Missions を終え、フランス語がどれくらい身に付いたか自己評価してみよう。	A C
第15回	定期試験に向けて、Missions で身につけた知識やスキルの見直しをしよう。	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590035002	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2J1~2J3_2T9_2K1~2K3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J1 ~ 2J3_2T9_2K1 ~ 2K3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期のフランス語 に引き続き「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 「～しながら」(同時性)や「～すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。</p> <p>2) 感嘆文が言えるようになる。</p> <p>3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。</p> <p>4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。</p> <p>5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Mission 13 「ボスはどこだ？」（1） 1）Masamune たちの会話を読み取り、WANの計画を予想しよう。 2）「動詞の現在分詞」を知り、作れるようになるう。 3）ウラジミールの指示を聞き取るう。	A B C
第2回	「ボスはどこだ？」（2） 1）グループでマサムネとサラの会話を完成させよう。 2）「ジェロンディフ」って何だ？形を知り、使いこなそう。 3）感嘆文「何という...！」を使えるようになるう。	A B C
第3回	「ボスはどこだ？」（3） 1）建物の階のフランス式数え方を知ろう。 2）ボスの居場所と特徴を読み取るう。	A B C
第4回	Mission 13 の小テスト フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう。	A B C
第5回	フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう（続き）	A B C
第6回	Mission 14 「エトワール塔の決戦」（1） 1）質問に答えて敵を倒そう。 2）グループでボスの主張を読み取るう。 3）所有代名詞「～のもの」を知ろう。	A B C
第7回	「エトワール塔の決戦」（2） 1）ウラジミールの指示を書き取るう。 2）ボスの分身の術を破り、本物を見つけ出そう。	A B C
第8回	「エトワール塔の決戦」（3） 1）条件法現在形の活用と用法を知ろう。 2）モンスター化したぼすを倒すため、グループで協力してクロスワードを解こう。 Mission accomplie !	A B C
第9回	Mission 15 「希望のうた」（1） 1）サラの歌の歌詞を美しい日本語に訳そう。 2）今までの経験を最初から順番に思い出そう。 3）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C

第10回	「希望のうた」(2) 1) 勇者たちの未来を予想しよう。 2) グループで会話文を完成させよう。 3) 接続法について知ろう。	A B C
第11回	「希望のうた」(3) 1) 接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 2) 住居に関する語彙を知ろう。	A C
第12回	「希望のうた」(4) 1) 理想の家をグループで考え、絵とともに説明しよう。 2) ウラジミールからのお礼のメールを読もう。	A B C
第13回	課題に取り組もう(1) このストーリーの登場人物たちに宛ててメッセージを書こう。	A C
第14回	課題に取り組もう(2) 全ての Missions を終え、フランス語がどれくらい身に付いたか自己評価してみよう。	A C
第15回	定期試験に向けて、Missions で身につけた知識やスキルの見直しをしよう。	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590035003	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2M1~2M3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1~2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>教科書は、前期のフランス語 に引き続き「正宗伝:RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>1) 「~しながら」(同時性)や「~すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。</p> <p>2) 感嘆文が言えるようになる。</p> <p>3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。</p> <p>4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。</p> <p>5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード/Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Mission 13 「ボスはどこだ？」（1） 1）Masamune たちの会話を読み取り、WANOの計画を予想しよう。 2）「動詞の現在分詞」を知り、作れるようになるう。 3）ウラジミールの指示を聞き取るう。	A B C
第2回	「ボスはどこだ？」（2） 1）グループでマサムネとサラの会話を完成させよう。 2）「ジェロンディフ」って何だ？形を知り、使いこなそう。 3）感嘆文「何という...！」を使えるようになるう。	A B C
第3回	「ボスはどこだ？」（3） 1）建物の階のフランス式数え方を知ろう。 2）ボスの居場所と特徴を読み取るう。	A B C
第4回	Mission 13 の小テスト フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう。	A B C
第5回	フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう（続き）	A B C
第6回	Mission 14 「エトワール塔の決戦」（1） 1）質問に答えて敵を倒そう。 2）グループでボスの主張を読み取るう。 3）所有代名詞「～のもの」を知ろう。	A B C
第7回	「エトワール塔の決戦」（2） 1）ウラジミールの指示を書き取るう。 2）ボスの分身の術を破り、本物を見つけ出そう。	A B C
第8回	「エトワール塔の決戦」（3） 1）条件法現在形の活用と用法を知ろう。 2）モンスター化したぼすを倒すため、グループで協力してクロスワードを解こう。 Mission accomplie !	A B C
第9回	Mission 15 「希望のうた」（1） 1）サラの歌の歌詞を美しい日本語に訳そう。 2）今までの経験を最初から順番に思い出そう。 3）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C

第10回	「希望のうた」(2) 1) 勇者たちの未来を予想しよう。 2) グループで会話文を完成させよう。 3) 接続法について知ろう。	A B C
第11回	「希望のうた」(3) 1) 接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 2) 住居に関する語彙を知ろう。	A C
第12回	「希望のうた」(4) 1) 理想の家をグループで考え、絵とともに説明しよう。 2) ウラジミールからのお礼のメールを読もう。	A B C
第13回	課題に取り組もう(1) このストーリーの登場人物たちに宛ててメッセージを書こう。	A C
第14回	課題に取り組もう(2) 全ての Missions を終え、フランス語がどれくらい身に付いたか自己評価してみよう。	A C
第15回	定期試験に向けて、Missions で身につけた知識やスキルの見直しをしよう。	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590035004	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2G1~2G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1 ~ 2G3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	曜日12:00~12:50 水曜日12:00~12:50 木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期のフランス語 に引き続き「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 「~しながら」(同時性)や「~すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。</p> <p>2) 感嘆文が言えるようになる。</p> <p>3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。</p> <p>4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。</p> <p>5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Mission 13 「ボスはどこだ？」（1） 1）Masamune たちの会話を読み取り、WANOの計画を予想しよう。 2）「動詞の現在分詞」を知り、作れるようになるう。 3）ウラジミールの指示を聞き取るう。	A B C
第2回	「ボスはどこだ？」（2） 1）グループでマサムネとサラの会話を完成させよう。 2）「ジェロンディフ」って何だ？形を知り、使いこなそう。 3）感嘆文「何という...！」を使えるようになるう。	A B C
第3回	「ボスはどこだ？」（3） 1）建物の階のフランス式数え方を知ろう。 2）ボスの居場所と特徴を読み取るう。	A B C
第4回	Mission 13 の小テスト フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう。	A B C
第5回	フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう（続き）	A B C
第6回	Mission 14 「エトワール塔の決戦」（1） 1）質問に答えて敵を倒そう。 2）グループでボスの主張を読み取るう。 3）所有代名詞「～のもの」を知ろう。	A B C
第7回	「エトワール塔の決戦」（2） 1）ウラジミールの指示を書き取るう。 2）ボスの分身の術を破り、本物を見つけ出そう。	A B C
第8回	「エトワール塔の決戦」（3） 1）条件法現在形の活用と用法を知ろう。 2）モンスター化したぼすを倒すため、グループで協力してクロスワードを解こう。 Mission accomplie !	A B C
第9回	Mission 15 「希望のうた」（1） 1）サラの歌の歌詞を美しい日本語に訳そう。 2）今までの経験を最初から順番に思い出そう。 3）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C

第10回	「希望のうた」(2) 1) 勇者たちの未来を予想しよう。 2) グループで会話文を完成させよう。 3) 接続法について知ろう。	A B C
第11回	「希望のうた」(3) 1) 接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 2) 住居に関する語彙を知ろう。	A C
第12回	「希望のうた」(4) 1) 理想の家をグループで考え、絵とともに説明しよう。 2) ウラジミールからのお礼のメールを読もう。	A B C
第13回	課題に取り組もう(1) このストーリーの登場人物たちに宛ててメッセージを書こう。	A C
第14回	課題に取り組もう(2) 全ての Missions を終え、フランス語がどれくらい身に付いたか自己評価してみよう。	A C
第15回	定期試験に向けて、Missions で身につけた知識やスキルの見直しをしよう。	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590035005	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2E1 ~ 2E3_2P1・2P2) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E1 ~ 2E3_2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期のフランス語 に引き続き「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 「～しながら」(同時性)や「～すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。</p> <p>2) 感嘆文が言えるようになる。</p> <p>3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。</p> <p>4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。</p> <p>5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Mission 13 「ボスはどこだ？」（1） 1）Masamune たちの会話を読み取り、WANOの計画を予想しよう。 2）「動詞の現在分詞」を知り、作れるようになるう。 3）ウラジミールの指示を聞き取るう。	A B C
第2回	「ボスはどこだ？」（2） 1）グループでマサムネとサラの会話を完成させよう。 2）「ジェロンディフ」って何だ？形を知り、使いこなそう。 3）感嘆文「何という...！」を使えるようになるう。	A B C
第3回	「ボスはどこだ？」（3） 1）建物の階のフランス式数え方を知ろう。 2）ボスの居場所と特徴を読み取るう。	A B C
第4回	Mission 13 の小テスト フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう。	A B C
第5回	フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう（続き）	A B C
第6回	Mission 14 「エトワール塔の決戦」（1） 1）質問に答えて敵を倒そう。 2）グループでボスの主張を読み取るう。 3）所有代名詞「～のもの」を知ろう。	A B C
第7回	「エトワール塔の決戦」（2） 1）ウラジミールの指示を書き取るう。 2）ボスの分身の術を破り、本物を見つけ出そう。	A B C
第8回	「エトワール塔の決戦」（3） 1）条件法現在形の活用と用法を知ろう。 2）モンスター化したぼすを倒すため、グループで協力してクロスワードを解こう。 Mission accomplie !	A B C
第9回	Mission 15 「希望のうた」（1） 1）サラの歌の歌詞を美しい日本語に訳そう。 2）今までの経験を最初から順番に思い出そう。 3）ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C

第10回	「希望のうた」(2) 1) 勇者たちの未来を予想しよう。 2) グループで会話文を完成させよう。 3) 接続法について知ろう。	A B C
第11回	「希望のうた」(3) 1) 接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 2) 住居に関する語彙を知ろう。	A C
第12回	「希望のうた」(4) 1) 理想の家をグループで考え、絵とともに説明しよう。 2) ウラジミールからのお礼のメールを読もう。	A B C
第13回	課題に取り組もう(1) このストーリーの登場人物たちに宛ててメッセージを書こう。	A C
第14回	課題に取り組もう(2) 全ての Missions を終え、フランス語がどれくらい身に付いたか自己評価してみよう。	A C
第15回	定期試験に向けて、Missions で身につけた知識やスキルの見直しをしよう。	A
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590035006	科目番号 / Course code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Course title	フランス語 (2E4 ~ 2E6_2F1 ~ 2F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E4 ~ 2E6_2F1 ~ 2F3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ch.hashimoto ked.biglobe.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教科書は、前期のフランス語 に引き続き「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」を使います。この教科書は、グループワークが中心で、RPGをコンセプトに、楽しみながら、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。舞台は近未来です。主人公のMasamuneは、SarahやVladimirやAmadouという3人の勇者たちと様々な困難を乗り越えます。ゲームを解きながらフランスで日常よく使われる会話を学びます。</p> <p>またフランスの観光地、音楽、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、文化的・社会的側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>1) 「～しながら」(同時性)や「～すれば」(条件)を表すジェロンディフ(en +現在分詞)が使えるようになる。</p> <p>2) 感嘆文が言えるようになる。</p> <p>3) 条件法・接続法など動詞の叙法について知り、典型的な使い方で文が作れるようになる。</p> <p>4) 住居に関する単語や階の数え方を知り、家の説明ができるようになる。</p> <p>5) 誰かに対する評価を含んだお礼のメッセージが書けるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、小テスト15%、課題10%、授業態度10%、Fr@nce.go (自学学習) 15%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。半期で7時間です。事後学習は、ネット上の練習問題のFr@nce.goです。半期で8時間です。		
キーワード / Keywords	フランス語		

教科書・教材・参考書/Materials	「正宗伝：RPGで学ぶフランス語」（三修社） 辞書（仏和辞典あるいは電子辞書）は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	旅行や日常会話のフランス語を楽しく学ぶ。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれる。フランス人の目を通して日本の文化を見直す。	
学生へのメッセージ/Message for students	楽しく日常会話ができるようにしましょう。意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	Mission 13 「ボスはどこだ？」(1) 1) Masamune たちの会話を読み取り、WANOの計画を予想しよう。 2) 「動詞の現在分詞」を知り、作れるようになるう。 3) ウラジミールの指示を聞き取るう。	A B C
第2回	「ボスはどこだ？」(2) 1) グループでマサムネとサラの会話を完成させよう。 2) 「ジェロンディフ」って何だ？形を知り、使いこなそう。 3) 感嘆文「何という...！」を使えるようになるう。	A B C
第3回	「ボスはどこだ？」(3) 1) 建物の階のフランス式数え方を知ろう。 2) ボスの居場所と特徴を読み取るう。	A B C
第4回	Mission 13 の小テスト フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう。	A B C
第5回	フランス映画を見て、L'amour, la diversité, la liberté... について考え、グループで話し合おう。聞き取れた表現や語彙を書き留め、グループで共有しよう(続き)	A B C
第6回	Mission 14 「エトワール塔の決戦」(1) 1) 質問に答えて敵を倒そう。 2) グループでボスの主張を読み取るう。 3) 所有代名詞「~のもの」を知ろう。	A B C
第7回	「エトワール塔の決戦」(2) 1) ウラジミールの指示を書き取るう。 2) ボスの分身の術を破り、本物を見つけ出そう。	A B C
第8回	「エトワール塔の決戦」(3) 1) 条件法現在形の活用と用法を知ろう。 2) モンスター化したぼすを倒すため、グループで協力してクロスワードを解こう。 Mission accomplie !	A B C
第9回	Mission 15 「希望のうた」(1) 1) サラの歌の歌詞を美しい日本語に訳そう。 2) 今までの経験を最初から順番に思い出そう。 3) ストーリーにふさわしいタイトルを選ぼう。	A B C

第10回	「希望のうた」(2) 1) 勇者たちの未来を予想しよう。 2) グループで会話文を完成させよう。 3) 接続法について知ろう。	A B C
第11回	「希望のうた」(3) 1) 接続法現在の活用と用法について理解を深めよう。 2) 住居に関する語彙を知ろう。	A C
第12回	「希望のうた」(4) 1) 理想の家をグループで考え、絵とともに説明しよう。 2) ウラジミールからのお礼のメールを読もう。	A B C
第13回	課題に取り組もう(1) このストーリーの登場人物たちに宛ててメッセージを書こう。	A C
第14回	課題に取り組もう(2) 全ての Missions を終え、フランス語がどれくらい身に付いたか自己評価してみよう。	A C
第15回	定期試験に向けて、Missions で身につけた知識やスキルの見直しをしよう。	A
第16回	定期試験	A